

稲作だより

第 10 号

令和 3 年 8 月 31 日発行
山形おいしさ極める！
米づくり日本一プロジェクト
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8215

管内の出穂は平年より 2～3 日程早いです。
適期刈取に備えて準備を進めましょう！！

【管内の予想刈取適期(8 月 30 日現在)】

◎出穂後の積算気温からみた収穫時期の目安(平坦)

品種名	出穂期 (目安)	青糲 歩合 (%)	出穂後の積算温度 : 刈取適期(月/日)																													
			9/11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8		
ひとめぼれ	8月1日	15	950℃		1,100℃																											
はえぬき	8月1日	20	950℃		1,200℃																											
雪若丸	8月2日	20	950℃		1,200℃																											
つや姫	8月8日	15																			1,000℃		1,200℃									
コシヒカリ	8月9日	15																			1,000℃		1,200℃									

◎出穂後の積算気温からみた収穫時期の目安(中山間)

品種名	出穂期 (目安)	青糲 歩合 (%)	出穂後の積算温度 : 刈取適期(月/日)																													
			9/13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
あきたこまち	7月31日	15	950℃		1,200℃																											
山形95号	8月2日	20	950℃		1,200℃																											
はえぬき	8月3日	20	950℃		1,200℃																											
雪若丸	8月4日	20	950℃		1,200℃																											
つや姫	8月10日	15																			1,000℃		1,200℃									
コシヒカリ	8月11日	15																			1,000℃		1,200℃									

※8月29日までは本年値、以降は平年値を使用(アメダス値)。

- ・平坦地域では、9 月 11 日頃から、「はえぬき」の刈取り適期に入る見込みです。
- ・中山間地域では、9 月 13 日頃から、「あきたこまち」の刈取適期に入る見込みです。

機械の点検等を行い 9 月中旬頃からの刈取り開始に備えましょう!!

【品質を高めるための水管理】

- ・品質、食味を高めるため、**出穂後 30 日以降**に落水しましょう。

※早期落水は根の活力が低下して、米の充実が不足し品質・食味が劣るので注意しましょう!!

【青籾歩合、籾水分の刈り始め目安】

- ・mあたりの籾数が少ない場合は、登熟が進みやすいため、刈り始め時期が早まり、適期幅が短くなります。
- ・籾数が多い場合は、刈り始め時期が若干遅くなりますが、早く出穂した穂が刈遅れにより品質低下しやすいため、適期幅が短くなります。
- ・一般的な刈り始めの青籾歩合は 15%程度ですが、籾数が多い場合は 20%程度となります。
- ・刈り始めの籾水分は 25%以下が目安です。晩限は 21%程度の時期です。籾水分が高いと品質が低下しやすく、籾水分が 20%以下になると胴割粒が増加しやすくなります。



【乾燥・調製のポイント】

① 乾燥

- ・出荷玄米の適正水分は 14.5～15.0%。過乾燥にならないよう注意しましょう！
- ・一気に乾燥させると胴割れ粒が発生しやすく、「水分の戻り」も大きくなります。
→ ゆっくりと丁寧に乾燥を行い、均質で適正な水分に仕上げましょう。
- ・高水分籾の場合は、粒間水分差を縮めるため初期に通風乾燥を実施し、2段乾燥を実施!!
※ 1次乾燥は 17%程度までとし、穀温を下げてから仕上げ乾燥を行いましょ。

② 調製

- ・籾すりは“試しずり”を行ってロール幅の調整を行いましょ。
- ・毎年「肌ずれ」「籾混入」で落等する事例が見られます。こまめに確認を行い落等を防ぎましょ!!
- ・「雪若丸」は粒が大きいので必ず試しずりを行い、「砕け」「肌ずれ」の発生を防いで高品質米に仕上げましょ!!

② 異物・異品種混入防止

- ・品種が切り替わる際は、収穫、乾燥及び調製の機械などの清掃を徹底し、異品種等の混入を防ぎましょ。特に、多数の品種を栽培されている方は細心の注意を払いましょ。
- ・水田内に『クサネム』等の雑草が見られます。玄米に混入すると選別網では抜けず、検査等級が落等してしまうことがあるので、稲刈り前に抜き取りましょ。

☆**STOP農作業事故 農作業事故に十分注意してください!!**

コンバイン等の操作にも十分な注意!

- ・チェーンへの巻き込まれ注意！（服装にも注意）
- ・点検・調整や詰まりを取る際は、エンジンを止めましょ！
- ・路上走行注意！ 圃場への進入やあぜ越え時は特に注意！
- ・籾の搬送や圃場の移動時は“シートベルト”をしっかり締めましょ！

